

■ 大賀新体制が発足しました！

令和2年6月25日、県石油会館で令和2年度第2回理事会が開催され、第9代理事長に大賀誠一 副理事長が選出され、副理事長に石原俊太郎副理事長、福島誠副理事長がそれぞれ再選されました。新理事長の誕生は8年ぶりのことです。



大賀誠一理事長

大賀理事長は、就任あいさつで「微力ではございますが、石原・福島両副理事長並びに曳野専務にサポートして頂き、組合発展の為に頑張っている所存でございますので、今後とも理事の皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

4～5月は、コロナウイルス感染防止の為に、4月中旬以降県外への移動の制限があった影響で、燃料油販売量・油外販売とも大幅に減販されたのではないのでしょうか。

弊社におきましても、同様に減販いたしました。幸い口銭の方は前年より大幅に改善し、営業利益は前年を大きく上回ることができました。

今後、電気自動車・燃料電池車・プラグインハイブリッド車等の省燃費車が主流になってくれば、燃料油の減販は止むを得ません。

このような環境下で、廉売による過当競争は自粛して、採算販売による再投資可能な体質強化をして頂きたいと考えています。

現在組合で取り組んでいる「廃タイヤ回収事業」、「廃油回収事業」等のように、今後組合で取り組んでほしい事業があれば、どんどん要望してほしいと思います。皆さんの希望に添えるよう、しっかり検討してまいります。

7月第1週もサウジ調整金の影響で7円前後の大幅な値上げが予想されます。上がってきた分はかぶることなく、しっかりと価格転嫁をして頂き、これ以上廃業される店を出さないよう、夢と希望の持てる石油業界になることを皆さんと共に実現していきましょう。」と抱負を述べ、組合活動の先頭に立って進む決意を表明されました。



石原俊太郎副理事長(油政連会長)



福島 誠副理事長

今後とも、大賀・石原・福島トロイカ体制により組合員一同しっかりと牽引していただきますよう、お願いいたします！